THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF

OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2020-2021)
国際会長主題：“VALUES,EXTENSION and LEADERSHIP”「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア会長主題：“Make a difference”「変化をもたらそう」
西日本区理事主題：“Let's do it now!” 「2022 に向け誇りを持って All is well」
中西部部長主題：「ワイズの力を信じて、自ら行動しよう」
クラブ会長主題：「一隅を照らす」

Monthly Bulletin

第 288 号

2021 年 1 月

聖書のことば

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

マタイによる福音書5章 7,8 節
選者 江見 淑子

１月例会プログラム

日時：2021 年 1 月 9 日（土）14：00～16：00
場所：大阪 YMCA 102,103 号室

司会 山佐亜津子

1. 開会点鐘 桑原 頼子会長
2. ワイズソング：奏楽のみ
3. 聖句朗読 江見 淑子
4. ゲスト、ビジター紹介 桑原 頼子会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. メンバー 10 分卓話
   生雲文枝さん 保田圭子さん
   鳥居 翠さん 吉田由美さん
7. お誕生祝い：奏楽のみ
8. ニコニコ献金 ドライバー
9. クラブ事務協議
10. YMCA の歌：奏楽のみ
11. 閉会点鐘 桑原 頼子会長

例会当番（C） 受付当番（B）

12 月 統 計
例会中止につき、計測不能

「新年を迎えて」

桑原 頼子

やっと半年が過ぎました。
「新年おめでとうございます」とは言えない年明けです。

この年度の前半は、暑い暑い中での自粛生活、ゲリラ雷雨、その後に見えた美しい虹が印象的でした。秋になると、Go To キャンペーンで大勢が右往左往し、第３波のコロナ禍で最高感染者数が報道されました。一番気になったのは大阪の感染者数。大阪 YMCA で例会を持っているなかのしまとしては、いつ何時会館閉鎖という事態にならないか、心配の日々。10 月には台風接近で例会中止、また次はコロナ禍で例会が中止にならないようにと、穏やかな気持ちではいられません、と思っていたところに大阪府では医療「非常事態宣言」が発令され、１２月例会中止を余儀なくされました。

ワイズの主たる目的である、活動しながらの交流については、例会を持つことだけは出来ても、通常なら期の前半に集中する催事のすべてが中止になったのは寂しい限りでした。２チームを支援していたチャリティーラン、バザーに力を入れていた土佐堀カーニバル、コンサートが楽しみだった土佐堀クリスマスなどは、毎年なかのしまクラブメンバーが楽しみながら参加し、力を注いでいた催事だったのに、ホントに残念でした。特に今期は中西部部長・キャビネットの役を担っていながら、メインイベントである部会を開催することが出来ませんでした。

そしてこれからの後半年は、どのように変化するでしょうか。例会は年度末まで変わらずに、大阪 YMCA でメンバー卓話や事務協議を主体に行い、最後の６月には「アトリエゆうハウス」の現況報告を受け、ささやかながらの支援で締めくくる予定です。

「KYB 関西ワイズビジネス交流会」に参加して

鳥居　翠

初めてKYBのおはなしを伺ったのは、コロナが第1波と言われていた頃だったように思います。その時は『部を超えた活動なんて本当にできるのだろうか？』というのが本音でした。

世の中がコロナー色になり、仕事がどんどんとキャンセルされていきこれからどうなるのだろうという不安しかない中、KYBの準備委員会が行われました。世の中が混沌と不安と不満のマーブル模様になっている中、会合の内容は前向きな意見の交換会でした。会の終了後、いつになくウキウキして帰ったことを覚えています。

掛谷ワイズ始め中心メンバーの皆さんのご尽力のおかげで12月5日という日を迎えました。奇しくも第１波よりも患者数が爆発的に増えておりオンライン参加と実際に参加される方という最近のニュースタンダードを目の当たりにした会となりました。

17：00きっかりスタート、野田ワイズ司会のもとスムーズに進んでいきました。いよいよおまちかねの『大商演会』の始まりです。西日本区からびわこ部・京都部・阪和部・中西部・六甲部と、本当に関西一円から参加してくださって最初の不安はどこへやら・・・ワイズの部会・例会・研修会などではよく存じ上げている方々が普段はどんなお仕事をされているのか、全く知らなかったことばかりで『はぁー』やら『へぇー』やら間抜けな顔で、プレゼンされている方に感心してばかりでした。

KYBに参加してみてワイズの人脈の深さと濃さを再認識することができました

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

他クラブ訪問記
大 阪 クラブ

藤井　弥生

12 月８日(火)大阪クラブの例会は、クリスマス例会でした。今コロナの最中、大丈夫かなと思いながら７月例会から 12 月例会まで（8 月用事あり欠席）楽しく参加しました。北村メンのおっしゃるには「コロナ感染対策には十分注意はしていますよ」と。　開会宣言・点鐘で始まり　クリスマスメッセージ　「クリスマスの意味」趙永哲牧師先生のお説教で始まりました。58 歳とんでもない、ずいぶんお若くおみうけしました。５カ国語（英語、フランス語、韓国語、中国語、日本語）を話されるそうです。凄い！いよいよ楽しみのクリスマス演奏会。フラメンコギター、パーカッションによる黒いオルフェ、ボサノバメドレー、などなど、最後にホワイトクリスマス。楽器についてお伺いしようと思いましたが、すぐに片付け、お帰りになったようです。例会に戻りました。お食事はありませんでした。帰ってから、私は調べました。ギターとフラメンコギターの違い、明るく、鋭く、パンと歯切れの良い音、踊りを引き立てると。パーカッション独特な音色。見た目はステレオのコンポ、木製の長方形の箱でその上に座って側面を両手で、または片手、指先だけで叩く、手の甲で叩くなど。その音色はコン、パシ、パキ、パキッと鳴ります。素敵なクリスマスソングを楽しみました。

誕生日お祝いでワイズのフォークをいただきました。「きよしこの夜」を全員で歌いました。

閉会点鐘。クリスマス演奏会　楽しい例会でした。

ジャム作り奮闘記 ①

杉浦　眞喜子

ジャム作りの最初は，まず材料になる果物が手に入るところからです。無料で頂けることを原則としていますが，時に代金を出して下さったり，知人が代金を負担して送って下さったり，着払いの送料を負担して下さったりと，「縁の下の力持ち」的な存在の方がいて下さいます。果物が何日ごろ入るとなると，いつジャム作りをするか？日程調整です。キーになってくださる 2,3 の方と相談して，ジャム作りの日を決め，なかのしまメンバーにメールでお知らせします。

日程が決まったら，取り掛かるのが瓶の洗浄です。皆さんが瓶を返して下さいますが，勿論それだけでは足りないので，時々買っています。特にキャップは，破損していることが多いので，瓶の数より多く注文しています。返ってきたものも買ったものも，一緒に食洗機にかけ洗浄します。食洗機は，最後高温で乾燥するので，少しは滅菌になるかなと思っています。以前ジャムが思っていたより多く出来て，途中で慌てて瓶の洗浄をやったことがあるので，それからはいつも多めに洗浄しています。

そして当日，朝私がやるのは，自分の(時に山田の分も)お弁当作りです。ジャム作りは，お弁当持参が原則ですので，みなさんご自分で作られたり，来る途中で調達したりして持ってこられます。お昼のお弁当の時間，結構楽しみなのです。そしてありったけの包丁やまな板，ざるやバットを出して，皆さんが来られるのを待ちます。時間がある時は材料の果物の洗浄を始めています。

（次号に続く）

私がワイズを知った時　【7】

吉田　由美

2008 年 1 月 27 日に行われたチャリティー公演『人形劇ハムレット』のチケットを保田さんから頂き、小雪降る中をクレオ大阪東へ向かいました。ワイズメンズクラブの名前は、私の中学時代から父がワイズ活動をしていたので知っていましたが、杉浦さんから、なかのしまクラブには江見淑子さんがおられる事を聞いていたので、36～7 年ぶりにお会いしたくて足が早まったことを覚えています。江見淑子さんは 1971 年に洗礼を受けた時の宗教主事で、緊張する私の横に優しい表情で写っている写真が今も手元に残っています。その後2～3回第一例会に参加し、6 月第一例会にて会長桑原頼子さん、司式江見さんにより入会させていただきました。

私がワイズを初めて知ったのは、定かでは在りませんが、1965～6 年頃だと思います。いわゆるコメットだった訳ですが、例会に参加したことや区大会などに参加したことは有りません（弟は区大会の集合写真に写っていますが）。ワイズ合唱団が組織され、尼崎文化会館（現在は立て替えられてアルカイックホール）の練習室で、尼崎教会の聖歌隊が中心となって、多分オペラのコーラス部分を練習したような気がします。

活動に参加したのはこの程度ですが、両親が日本区大会に参加するため数日、家を留守にしていた事を覚えています。第 24 回の長島温泉での大会や、第 26 回の富士急ハイランド、1973 年の第 28 回札幌での大会は、母が何度も話していたので記憶の隅に残っています。札幌へは自家用車で舞鶴まで行き、フェリーで小樽へ、大会の前後も道内を巡ったようで、母から「新婚旅行をしていなかったので、これが新婚旅行と楽しみにしていたのに、何方かが同乗されて少しがっかりした。」と、帰宅後に話していました。父は 1985 年、母は 2004 年に逝去しましたので、当時の事をもっと聞いておけば良かったなあ・・と思います。

ワイズ歴としては浅い私ですが、大きな顔をしているのは両親のお陰でしょうか。

私が行った国際大会、アジア大会
第 66 回国際大会（コチン）

藤井　弥生

2004 年８月 11 日(水)から８月 18 日(水)まで国際大会インド(コチン)でのツアーに参加しました。約 16 年前のこと特に大会自体のことはあまりよく覚えていません。

関空から、香港、ムンバイで乗り継ぎコチンへ、国際大会の、開会式が始まりました。多くの外国の方が参加していました。英語で話されているので私には分かりません。晩餐会が始まりました。さすがインド、いろいろな種類のカレー、カレーです、おいしくいただきましたが、ちょっと飽きてしまったかな・・。

エクスカーションで水郷地帯へ行きましたが、その時突然雨が降り出し、それもすごいどしゃ降りの雨、とにかく驚きましたが、夕方にはすっかり上がって綺麗な夜空に。翌日は海岸で「チャイニーズ フィシング ネット」の見学、特殊なネットで、大きな網を海に沈め魚の入るのを待って、何人もの漁師さんがテコの原理を利用して網をつり上げるのだとか。

大会後のツアーの目玉は、世界遺産タージ・マハル観光でした。（インドの方にはちょっと失礼ですが）インドの街はとにかく汚い、どこもゴミだらけです。ツアーガイドの人によると、インドの人には「ゴミ箱にゴミを捨てる」という習慣が無いとか、どこでもポイ捨てなのだそうです。ところが、タージ・マハルメインゲートを入ると、何とゴミ一つ無い整然とした芝生が。「インドの人だってやれば出来るやん！」が私たちの第一声でした。正面からの外観は勿論、堂内のあらゆる部分の、大理石の建物、外観、内装、彫刻、文字の模様まで計算しつくされ、とにかく私たちは圧倒されました。これを見ることができただけでも、インドに来た価値があるねと。

なかのしまからの参加者は 安積さん、吉岡さん、杉浦さんの 4 人でした。

YMCA ニュース

★ 第 329 回早天祈祷会☆

日時…2021 年 1 月 15 日（金）7：30～8：15
※朝食会は実施しません。
奨励…古谷　佳之　さん
（大阪 YMCA 国際専門学校日本語学科　学科長）
場所…大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

◇1 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*
江見　淑子　1 日　　瀬島　恵子　8 日
今井　利子　19 日

= お知らせ=
◎ 東京西クラブメネット神谷雅子さんよりブリテン郵送用切手を頂きました。感謝です。

12 月ニコニコメッセージ

-「こんな年末年始を過ごします」-

☆ 12 月 31 日に京都の従姉の家に行って一緒に年の初めを迎える予定にしています。コロナの影響もあって、長い間お見舞いに行けてなかったので、久しぶりの再会です。もともと親戚が少ない上に、亡くなられた方も多いので、残っているのは従姉妹だけです。東京の娘の家族にも会えず、寂しいお正月になりそうです。（生雲）

☆ 毎年末から、亡姉の長女宅へ。四国、千葉から弟、甥、私、姪 4 人で賑やかな越年をします。今期はコロナで、弟が辞退し３人、倖せに向けて新年を迎えようと、実家の様な気楽な雰囲気を夢見つつ京都へ向かいます。１月２日に亡くなった姉の墓前で他の甥達に会い、１年１度の家族に会う倖せ。その帰りに娘夫婦の家で、孫、成長している３人の曽孫に会える楽しみ。しかし今年は孫の留学で一家は渡米中、残念！。高齢でコロナ感染の隙間を来年も上手に通り越え、乗り切りたい。楽しみの後の大きな決意の新年になりそう。（今井）

☆ いつものように東京から息子家族が来られるでしょうか毎年おせちが簡単になります。今年はついに「黒豆」「芋きんとん」をたくのをやめました。12月後半、もうお正月のように暇です。（江見）

☆ 今年の春には次のお正月はないかも？状態だったのに治療が順調でコロナにご縁もなく、元気に家族揃って新年を迎えます。みなさまのお励ましに感謝です。お祈りもいっぱい頂いて。ありがとう！！！（國友）

☆ 医療従事者の方々を思い、年末年始は自粛です。ラグビー、駅伝などスポーツ番組がいろいろあるので、あちこちを観戦します。プレーヤーにとっては観客の無い試合は寂しいでしょう。（桑原）

☆ 生まれて初めての「お一人様お正月」です。何をしようか、ちょっとワクワクです。「おせち」は作らないけど、好きなかまぼこ、数の子、黒豆は用意して、お餅（丸餅ではなくのし餅）もいるかな？読めていない本をゆっくり読んだり、録画したまま見ていない TV ドラマもゆっくり見て・・、そんなお正月、楽しみです。（杉浦）

☆ 31 日午前中まで家で過ごし、31 日午後に息子のところへ行き、おついたちの午後まで息子の家族と過ごします。その夕方には家に帰ってきます。これが例年のパターンです。多分今年もそうなるでしょう。（瀬島）

☆ あんなに片付けが好きだったのに、最近は散らかっていても、気にならなくなった。何故かしら？年のせいかしら？クリスマスが終わってから大掃除しましょう！あっ！　窓に蜘蛛の巣見つけた。（武井）

☆ 買いためている本を読んだり、オンラインの旅をしたり、オンラインの謎解きをしたりおいしいおせちをいただきながらお酒をいただいたり、抹茶をたてて和菓子でほっこり…優雅な巣ごもり生活をしたいなぁ＜理想＞、甥っ子姪っ子の襲撃に会って時給換算ですごい金額になるであろうお年玉を１０分ほどで持っていかれてふてくされて一升瓶を抱えて寝るであろう＜現実＞（鳥居）

☆ 母が平成２年１月 28 日に亡くなりました。車で 50 分位かけ毎日毎日、母に会いに行きました。その道は、私が手話講座の受講に行くときに使う道です。令和２年８月 15 日から毎週土曜日 16 回コースで 12 月 12 日まで、10 時から 12 時まで習っていました。また、令和３年１月９日から３月６日まで８回コースで習いに行きます。またその道を通ります。つらいです。なかなか覚えられない手話、でも新しいことに挑戦した手話、頑張ります、手話が楽しくなるように、、、（藤井）

☆ 在京の長男夫婦、孫たちに会いに行く予定をしていましたが、コロナ第３波を受け上京を取りやめました。慌てて「おせち料理」を考えたり、宅急便（お年玉や、クリスマスプレゼントなど）を用意したりしています。静かなお正月を過ごします。（藤好）

☆ 例年であれば、年末年始は弟と私の家族が実家に集まりますが、ロシアに単身赴任している弟は帰国できず、茨城県にいる弟家族もきっと今年は帰省を控えることになりそうです。私の家族はどうするか思案中です。実家には父と母だけが暮らしていますので、今年はロシア、茨城県をオンラインで繋いで、初の「オンライン新年会」でもやってみようと計画中です。実家には WiFi 環境が無かったので、先日ルーターを設置しました。（古谷）

☆ 年末年始の過ごし方、う～ん！う～ん！と迷える日々です。例年は我が家に集まるのですが今年は密は避けよう、お母さんおいでと、名古屋の次男が言ってくれたので、それはいい、30 年ぶりのよそでのお正月、と楽しみにしかけたら、コロナ感染者の急増です。愛知県も増え続けているので年末年始、他県から来るな、他県に行くなと。新幹線は大丈夫、でもどこでコロナを拾うかわからないから高齢者はやめたほうがいい、たくさんで行くのでなければ返って刺激になっていい・・・いろいろいってくれます。もうしばらく様子を見て決めよう、ということでお正月予定は決まっていません。（保田）

☆ この年末年始は家に篭るも、溜った家事をこなし、怠っていた試験対策の勉強に追われ、合間に母の相手など、なかなか憧れのダラダラ生活はできそうもありません。お蔭さまで、とでもいうべきか。（山佐）

☆ 昨年末は、姉と博多～長崎を巡りました。今年の４月プログラム、京都トゥービークラブ溝口ワイズの卓話「潜伏キリシタン」の予習が目的でした。今年の年末年始の予定は同居する娘一家と過ごすのみですが、３月に五島、平戸へのツアーに申し込んでいます。いつの日か溝口ワイズの卓話が聞けることを信じて「潜伏キリシタン予習第２弾」です。例会によって知らない世界が広がっていく事が、私の一番の楽しみであり喜びです。（吉田）

☆ 12 月 12 日(土)も新型コロナの影響で例会がまたまた休止となりました。私の最寄駅前に３月以来「新型コロナの感染が拡大しています、注意しましょう」の掲示板が立て掛けてあり、またまた自粛の日々が来ました。一日に一回は外の空気を吸うためにスーパーマーケットに食材の買物に出掛けることと、時には近くの公園を散歩することです。テレビが唯一の楽しみになり、スポーツや海外の街並紀行の放送を探して観ています。（吉岡）

☆ 急に寒くなったなあと思ったら、北国ではもう大雪で先が思いやられるような天候です。今年は大雨による土砂崩れ、洪水も大変でした。暑すぎて熱中症になった人も多く、その上コロナと。自然現象のみならず我が家の家電製品がもう交換時期と思われる症状が表れだし＋今日はスマホもフリーズした。掛かってくる電話も取れず、電源切るにも切れず、何が起きたか分からない５時間ほどだった。結局電源ヤットコ切れてリセットで作動しやれやれ。ということで、今年の年末年始は新しい家電製品に囲まれていつも通りに暮らします。（和田）

編　集　後　記

明けましておめでとうございます。
希望をもって、新しい歩みを始めたいですね。